

職能科通信 36 号

2017 年 5 月発行 職能科通信

検索 Q

〒243-0121
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川リハビリテーション病院
職能科
TEL&FAX 046-249-2575

新年度を迎えて

新年度を迎え、4月に七沢リハビリテーション病院脳血管センターと統合し、12月には新病院が開院します。職能科では人事異動により新体制となりました（写真1）。今年度も、当病院に入院されております患者さん及び外来患者さん、七沢自立支援ホームの利用者さん、そして神奈川県民の皆様や地域の医療機関・支援機関の方々に、医療機関の立場で職業リハビリテーションサービスを提供します。特に「高次脳機能障害の方への就労支援」「回復期脳血管障害の方への復職支援」「重度身体障害の方への在宅雇用支援」サービスの質の向上に向けた研鑽を行ってまいります。今後とも、ご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



写真1 職能科職員

（松元 健）

平成 28 年度の支援のまとめ

平成28年度は602名の方の支援を行いました。利用者さんの所属別内訳は、外来49%、入院48%、七沢自立支援ホーム3%でした。障がい別の内訳では、外傷性脳損傷・脳血管障がい・脳疾患など脳損傷の方が80%、脊髄障がい・その他（難病など）の方は20%でした（図1）。また、就職・復職をされた方は70名でした（表1）。

（松元 健）

表1 平成28年度の就職者数

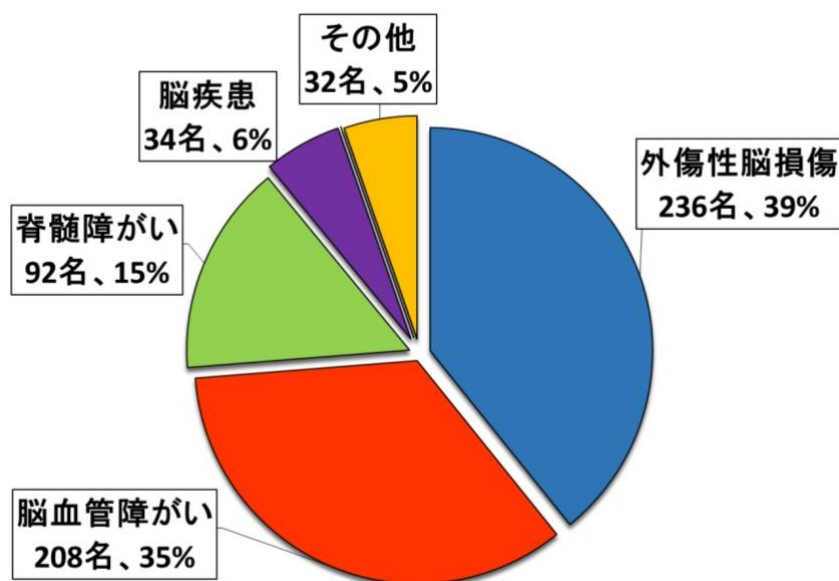


図1 平成28年度利用者(602名)の障がい分類

新規 就労	11名	外傷性脳損傷	4
		脳血管障がい	5
		脊髄障がい	2
		脳疾患	0
		知的障がい	0
		その他	0
復職	52名	外傷性脳損傷	28
		脳血管障がい	18
		脊髄障がい	0
		脳疾患	5
		その他	1
自営	7名	外傷性脳損傷	4
		脳血管障がい	2
		脊髄障がい	1
		脳疾患	0
		その他	0
	70名		

セミナーのお知らせ（詳しくは地域リハ支援センターのホームページをご覧ください）
・6/17 身体障害の方への在宅就労支援—肢体不自由の方・視覚障害のある方編—
・7/5 脊髄損傷のリハビリテーション（理解編）

職能科 能力開発部門(自立支援)での支援について

職能科では、初めの窓口として、評価担当者がインテーク面接・作業評価（職能科独自の作業テスト・MWS 簡易版・浜松式高次脳スケールなど）を行い、患者さんのニーズや現在の状態に応じ訓練部門・訓練担当者を決定し、支援を開始しています。

能力開発部門は、入院患者さんの割合が多く、認知・身体機能面の向上、在宅QOL、地域移行・復学に向けた支援を主に行っています。

基本となる訓練課題・教材は、脳トレ・認知課題をはじめ、彫金や手芸などの制作課題、組立課題、PC 課題等を提供しています。入院期間中に回復される日々の変化をとらえ、お一人お一人の状態にあった課題の選定、即した支援が行えるよう、「今どのような訓練がマッチするのか？」模索しながら取り組んでいます。中々、ご自身では回復の変化を感じられない場合もありますが、回復の経過に寄り添う事が出来る事は支援者としての喜びであり、励みともなっています。また、回復や経過に伴い能力開発部門から就労開発部門へ移行される場合もあり担当は変わりますが、継続・連携した支援が出来る所が職能科のポイントとなっていると感じています。

昨年度の 2 月下旬からは訓練室も一体となり部門は違っても入院患者さん同士、外来患者さんと入院患者さんなど様々な交流も見られ、刺激もあり良い雰囲気です。訓練が出来ているように感じられます。

～平成 28 年度の能力開発部門の実績～

能力開発部門での支援者数 188 名 そのうち支援終結数は 141 名 終結した患者・利用者の社会復帰状況は、在宅復帰 34% 地域資源への移行 23%、神奈川リハ病院外来 13%、その他(復学、施設移行、転院等)30%となっています。 (進藤 育美)

職能科 就労支援部門での支援について

就労支援部門では、入院及び外来患者さん、七沢自立支援ホーム利用者さんの復職・就労に関する支援を行っています。入院中は職業評価を中心に、基本情報の収集やワークサンプル課題によるトレーニングしています。退院後に外来支援へと継続していく場合も多く、個別での訓練課題の他、模擬職場などのグループ訓練へとつながっていきます。在宅での日課形成のため地域活動支援センターや継続 B 事業所などの地域資源を併用されている方も多数おられます。復職に際しては慣らし出勤の機会を設定させていただき、院内でのリハから職場環境でのリハへと移行し、職場復帰に向け具体的な調整に入っていきます。これまで病院から依頼する形で職場内リハを実施する機会が多かったのですが、最近は職制で復帰プログラムを用意されている職場も増えています。実際に平成 27 年度の職場内リハは、実施人数 17 名 53 件でしたが、平成 28 年度は、10 名 26 件と少なくなっています。また、復職までの平均期間は、約 1 年 5 か月でした。いずれの形態にせよ休職中の段階で慣らし出勤を実施することは、スムーズな職場復帰、復帰後の継続性を考えると果たす役割は大きいと考えます。

～平成 28 年度就労支援部門の実績～

就労支援部門での支援者数 365 名 そのうち支援終結数は 167 名 終結した患者・利用者の社会復帰状況は、就職者数 70 名 42% 地域資源への移行 21%、在宅 23%、転院・その他 14%となっています。 (今野 政美)

